

というコメントがあり、若い教師を育てると
いう配慮がかかってマイナスにもなりかねない
と思われる。

研修時間の確保については、過半の教師が
不足を感じているが、時間の確保と同時に効
率よい運営も配慮しなければならない。

③ 授業研究に関する意識調査（自由記述）

〔調査5〕 授業研究推進上の問題点と解決策

1. もっと研究主題にせまるよう協議会を焦点
化する。
2. 授業研究の視点（観点）を決め協議する。
3. 観察分担を決め、きめ細かな授業研究をする。
4. 授業研究のための時間の確保とむだのない
協議をする。
5. 外部から講師を招へいし授業研究をする。

(2) 研究結果と考察

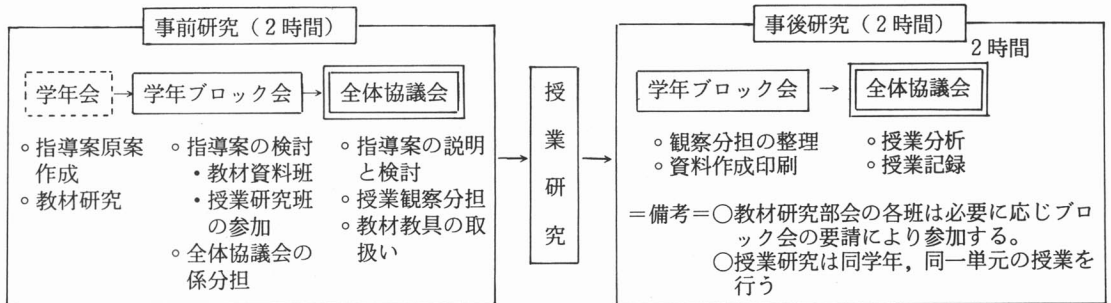
① 研修時間を効率よく運営するため、授業
案の協同化、個別化を組み入れ同学年2人
の授業を同日、同単元で行う。（時間場所
は変える。）

また、かつて研究された当教育センター
の「2-1-2方式の授業研究」を取り入
れて授業研究を行い運営改善に努める。

ア 全職員が授業研究を行うことを原則と
し、教職経験を参考に指導案の立案、指
導にあたる。

イ 学年ブロック会を十分活用し授業研究
を行う。事前、事後の協議会の司会や記
録は、ブロック内の各研究班がそれぞれ
受けもち分担する。

ウ 授業研究の持ち方



② 研究主題解決のための指導案の改善

ア 「2-1-2方式の授業研究」の指導
案の形式を取り入れる。

特に、指導過程のどの段階に授業観察
の視点を取り入れ、どう分担するかなど
従来の指導案の一部を改善する。

段 階	学習内容活動	時 間	教師の発問と 児童の反応	観察の観点	留意点 評価

改善後の指導過程はP4に掲載(上段)

イ 観察の視点は各学年、各ブロックで分
担し、資料を収集する。

ウ 指導案の立案の協同化、個別化をはかる。

- | | |
|---|---|
| 1. 単元名 …協 同 | 3. 単元の目標…協同 |
| 2. 単元についての考え
・教材観…協同
・児童観…協同
・指導観…個別 | 4. 指導計画…協同
5. 本時の主眼…個別
6. 指導過程…個別 |

エ 指導過程各欄の要旨

㊦ 観 点 … 研究主題の解決策とし
ての観点や本時の目標
を要約して書く。

㊧ 記 録 … []は視点,()は本時
の目標の評価を書く。

㊨ 評 価 … □は視点, ○は本時の
目標を5段階で評価する。